

ウェルウィッチア小学校での引渡式 (令和8年7月15日)

令和8年7月15日、麻妻大使は、オクラン（Mr. Samuel Kweku Ocran）UNICEF ナミビア代表とともに、クネネ州コリハスに共同出張し、日本政府の拠出で UNICEF が実施しているプロジェクト「ナミビアの被災地域における公衆衛生上の緊急事態の発生率、影響、および深刻度を軽減するための、保健システムと地域社会の能力強化」の対象校であるウェルウィッチア小学校を訪問しました。ウェルウィッチア小学校は、今次支援を通じて、開校した 1973 年依頼初めてとなる大規模なトイレの改修が行われており、同校に通う児童たちの衛生環境が大幅に改善される予定です。麻妻大使とオクラン代表は改修工事の様子を視察し、感染症を防ぎ、衛生的な環境を保つことで子供達の健康を守るために衛生なトイレの整備が重要であることをカトランドウ（Mr. Puvari Katundu）校長先生や建設業者と共に確認しました。クネネ州には、水不足や衛生設備の不備を理由に、児童・生徒が登校できていない学校があり深刻な社会問題となっており、緊急の対応が求められています。

麻妻大使とオクラン代表は、ウェルウィッチア小学校の児童との対話を実施し、WASH 資材（安全な水・トイレ・衛生習慣を確保し子供たちの命と健康を守るための物資）も供与しました。今回のプロジェクトにおいては、同様のトイレ改修と WASH 資材供与が対象校 20 校にて実施されることになっています。

